

## 第 10 回沖縄県アンダー40 設計競技 ティーダフラッグス 2021 応募要項

### 1 一般事項

#### (1) 目的

沖縄県では、県内の若手建築士の育成及び建築技術の向上と発展を図ることを目的として、平成 23 年度から 40 歳以下の建築士（志望者を含む）を対象とした設計競技を行っています。

第 10 回目となる今回の設計競技では、施設の利用形態や建設予定場所等について、若手らしい自由な提案を求めることとしています。

#### (2) 概要

対象施設は、平成 5 年度に建築された築 27 年の鉄筋コンクリート造の公衆トイレ及び休憩所です。大度浜海岸沿いに位置する厳しい自然環境にあるため、塩害などの影響により老朽化が進行しており、地元からも対策が求められています。

#### (3) 対象建物

大度園地公衆トイレ及び休憩所

#### (4) 設計競技の主催者等

ア 主 催：沖縄県土木建築部施設建築課、環境部自然保護課

イ 後 援：一般社団法人沖縄県建築士事務所協会  
公益社団法人沖縄県建築士会  
一般社団法人沖縄県設備設計事務所協会  
公益社団法人日本建築家協会沖縄支部

#### (5) 日程

応募要項・申込様式等配布	令和 3 年 11 月 1 日 (月) ～
質疑受付期間	令和 3 年 11 月 1 日 (月) ～ 令和 3 年 11 月 12 日 (金)
質疑に対する回答	回答は沖縄県アンダー40設計競技ティーダフラッグス 2021 ホームページにて随時掲載します。
応募登録申し込み受付期間	令和 3 年 11 月 1 日 (月) ～ 令和 3 年 11 月 22 日 (月) ※郵送の場合は最終日必着。
応募作品受付期間	令和 3 年 11 月 24 日 (水) ～ 令和 3 年 12 月 24 日 (金) ※郵送の場合は最終日必着。
1 次審査・結果発表	一次審査 令和 4 年 1 月 19 日 (水) 結果発表 令和 4 年 1 月 21 日 (金) (予定) ※沖縄県アンダー40設計競技ティーダフラッグス 2021 ホームページで結果発表するとともに、入選者には直接連絡します。
最終審査及び 結果発表	令和 4 年 2 月 9 日 (木) (予定) 会場：未定

その他	別添 整備提案書3. (4) 事業スケジュールを予定
-----	----------------------------

(6) 応募条件

応募にあたっては、以下のⅠ～Ⅲのいずれかを満たすことを条件とします。

Ⅰ 一般

ア 応募者に関する資格

- a 応募者（連名の場合、連名者すべて）が令和3年4月1日に満40才以下であること。
- b 応募者（連名の場合、連名者すべて）が次の(イ)、(ロ)いずれかの要件を満たすこと。
  - (イ) 沖縄県内に住所を有していること。
  - (ロ) 沖縄県内に本籍地があること。
- c 応募者（連名の場合、連名の代表者）は、一級建築士又は二級建築士の資格取得者であること。
- d 応募者（連名の場合、連名の代表者）は、イに掲げる要件を満たす法人等に所属していること。

イ 応募者（連名の場合、連名の代表者）が所属する法人等に関する要件

- a 応募者が所属する法人等が、次の(イ)、(ロ)、(ハ)全ての要件を満たすこと。
  - (イ) 沖縄県内に主たる営業所があること。
  - (ロ) 沖縄県土木建築部における、令和3・4年度測量及び建設コンサルタント等業務入札参加資格登録業者名簿に建築関係コンサルタントとして、登録が有効であること。
  - (ハ) 1名以上の一級建築士又は二級建築士を有すること
- b 応募登録申込書の提出期限最終日から特定日までの期間において、沖縄県の工事等契約に係る指名停止等の措置要領に基づく指名停止がなされていないこと。
- c 警察当局から、暴力団員が実質的に支配する建設業者又はこれに準じるものとして、沖縄県土木建築部発注工事等からの排除要請があり、当該状況が継続している者でないこと。

Ⅱ 建築士志望者（設計事務所に勤めている無資格者）

ア 応募者に関する資格

- a 応募者（連名の場合、連名者すべて）が令和3年4月1日に満40才以下であること。
- b 応募者（連名の場合、連名者すべて）が次の(イ)、(ロ)いずれかの要件を満たすこと。
  - (イ) 沖縄県内に住所を有していること。
  - (ロ) 沖縄県内に本籍地があること。
- c 応募者（連名の場合、連名の代表者）は、建築士法第15条第1号の二級建築士・木造建築士試験の受験資格を有すること
- d 応募者（連名の場合、連名の代表者）は、イに掲げる要件を満たす法人等に所属していること。

イ 応募者（連名の場合、連名の代表者）が所属する法人等に関する要件

- a 応募者が所属する法人等が、次の(イ)、(ロ)、(ハ)全ての要件を満たすこと。
  - (イ) 沖縄県内に主たる営業所があること。
  - (ロ) 沖縄県土木建築部における、令和3・4年度測量及び建設コンサルタント等業務入札参加資格登録業者名簿に建築関係コンサルタントとして、登録が有効であること。
  - (ハ) 1名以上の一級建築士又は二級建築士を有すること
- b 応募登録申込書の提出期限最終日から特定日までの期間において、沖縄県の工事等契約に係る指名停止等の措置要領に基づく指名停止がなされていないこと。

- c 警察当局から、暴力団員が実質的に支配する建設業者又はこれに準じるものとして、沖縄県土木建築部発注工事等からの排除要請があり、当該状況が継続している者でないこと。

### Ⅲ 学生

#### ア 応募者に関する資格

- a 応募者（連名の場合、連名者すべて）が令和3年4月1日に満40才以下であること。
- b 応募者（連名の場合、連名者すべて）が次の(イ)、(ロ)全ての要件を満たすこと。
  - (イ) 沖縄県内の大学及び専門学校等で、建築系の学科等に在籍していること。
  - (ロ) 金賞の受賞者（連名の場合、連名者すべて）は、別途委託契約により受注した設計事務所との実施設計業務（「1、(9)、オ」を参照）に参画すること。

#### (7) 応募に関する制限

- ア 応募者は、1件のみ応募することができます。なお、応募1件につき、提案は1つまでとします。
- イ 提案書及びプレゼンテーションは、日本語で実施することとします。

#### (8) 設計競技の形式等

- ア 本設計競技の選考は、課題解決力、デザイン力、実現可能性（工事費、維持管理費含む）等を含む総合的な視点から、「ティータフラッグス2021選考委員会」（以下、選考委員会という。）が審査を行い、金賞1点、銀賞1点、銅賞1点、学生賞1点を決定します。  
※ティータフラッグス2021では、公衆トイレ及び休憩所等計画施設全体を総合的に審査し入賞作品を決定します。
- イ 2段階選抜方式とします。
- ウ 1次審査では匿名非公開で提案書を審査し、入選案を選抜します。
- エ 最終審査では、プレゼンテーションと選考委員会による質疑応答によって提案の内容を公開で審査し、即日で審査結果の公表を行います。
- オ 各賞とも募集作品に優れた作品が無いと判断した場合は、該当作品なしとします。

#### (9) 設計業務の契約について

- ア 沖縄県は金賞受賞者を設計候補者として「1、(9)、オ」の業務における契約締結の交渉を行います。  
なお、金賞受賞者と契約締結に至らなかった場合は、次点案を提案したものと契約の交渉を行います。
- イ 金賞受賞者が連名による応募者であり、かつ、それぞれの連名者が所属する法人等が異なる場合には、沖縄県との設計業務委託契約に関し、受注形態（法人単体又は設計共同体の結成）について、当該法人等間において協議することとします。
- ウ 金賞受賞者が学生の場合は、別途委託契約により受注した設計事務所との実施設計業務に参画すること。この場合においても、「1、(9)、ア」が適用されます。
- エ 「1、(9)、ア」において、次点が学生の場合は、「1、(9)、ウ」に準じて、実施設計を行います。

オ 本競技により選定された設計候補者が実施する業務の概要

a 業務の内容

(仮称) 沖縄戦跡国定公園大度園地公衆トイレ改築工事設計業務

(仮称) 沖縄戦跡国定公園大度園地休憩所改築工事設計業務

b 履行予定時期

令和4年度内 (仮称) 沖縄戦跡国定公園大度園地公衆トイレ改築工事設計業務

令和6年度内 (仮称) 沖縄戦跡国定公園大度園地休憩所改築工事設計業務

カ 設計業務について

設計者は、公衆トイレ及び休憩所の運営上の観点から沖縄県が求める内容について、設計業務を通して沖縄県と協議を行い、設計案に反映させることとします。

(10) 賞

若手建築士等が県外、海外の優れた建築作品を訪れる機会を支援することを目的として、設計競技入賞作品を対象に以下のとおり賞を設けることとします。

金賞 1点 副賞 旅行券20万円分

銀賞 1点 副賞 旅行券10万円分

銅賞 1点 副賞 旅行券5万円分

学生賞 1点 副賞 旅行券5万円分

※各賞とも相応しい作品がなければ、該当なしとする場合があります。

## 2 設計条件

(1) 計画地

所在地 : 沖縄県糸満市大度 243-1 (沖縄戦跡国定公園)

敷地面積 : 約 2,400 m<sup>2</sup> (大度園地内)

用途地域 : 未指定 (市街化調整区域)

その他 : 地盤は岩盤

(2) 規模条件等

ア 施設規模等

a 延べ面積 公衆トイレ 20 m<sup>2</sup>程度、休憩所 30 m<sup>2</sup>程度

b 構造 鉄筋コンクリート造

c 階数 平屋建て

d その他 外構工事 (適宜)

イ 施設機能

公衆トイレ

a 男子トイレ (大便器×1、小便器×1)

b 女子トイレ (大便器×2)

c 多目的トイレ×1 (オストメイト対応) ※温水対応なし

d 足洗い場 (屋外×1) ※水栓は2つ程度

e 手洗い (適宜)

f 合併処理浄化槽 (20人槽) ※BOD 10mg/L 以下、全窒素 10mg/L 以下

休憩所

g ベンチ等 ※電気設備なし

## ウ その他留意事項

### a 配置・外構計画

- ・計画敷地へは農道からのアクセスとすること
- ・別紙「整備提案書」3.(4) 整備スケジュール(予定)を踏まえ配置計画とすること
- ・利用者が既存施設(トイレ及び駐車場)を利用しながら工事が行える計画とすること
- ・施設を海岸線付近に計画する場合は、海岸線から最低1~2m程度セットバックした配置計画とすること
- ・外構計画については、計画敷地内の既存インフラ資源を活かし、コスト縮減に配慮した計画とすること
- ・既存駐車場は原則現状を維持することとし、一部現状を変更する場合は既存駐車台数(28台)を確保する計画とすること
- ・車いす利用者用駐車スペースを、公衆トイレから利用しやすい位置に計画すること  
※既存の駐車台数には含まない
- ・バリアフリーに配慮した外構計画とすること
- ・駐車場に隣接する植栽付近では、ピクニックの利用があることから、その利用者に配慮した計画を行うこと

### b 建築計画

- ・公衆トイレ及び休憩所は別棟として計画すること
- ・海岸に隣接することを踏まえ、建築物の劣化要因に配慮した計画とすること
- ・景観に配慮した計画とすること
- ・バリアフリーに配慮した建築計画とすること
- ・浄化槽処理水は、原則既存側溝へ放流すること  
※足洗い場からの排水は浄化槽への接続を想定していないため、処理方法について適宜提案しても構いません

### c 維持管理計画

- ・メンテナンスを行いやすい計画となるよう配慮すること
- ・維持管理費低減に配慮した計画とすること
- ・節水に配慮した計画を行うこと
- ・環境に配慮した計画を行うこと

## (3) 概算直接工事費

ア 公衆トイレの概算直接工事費は、2,500万円以内とします。

イ 休憩所の概算直接工事費は、1,900万円以内とします。

※上記の直接工事費には、既存施設の解体工事費及び外構工事費を含まないものとし、実施設計時に事業予算に収まるよう発注者と協議することとします。

※県内工事業者が対応できない特殊工法等を採用する場合は、県外調達の費用(人件費を含む)も考慮してください。

※概算直接工事費を上回ることが想定される提案については、失格となる可能性があるのでご留意ください。

ウ 設計時に算出する直接工事費及び工事発注時に算出する直接工事費が、設計競技時に提案した概算直接工事費を上回らないようにしてください。

※沖縄県と設計業務の契約を行った者は、工事費の積算段階で概算直接工事費を上回らないように、自らの責任をもって、業務遂行することにご留意ください。

エ 設計時に算出する直接工事費及び工事発注時に算出する直接工事費が合理的な理由なく、設計競技時に提案した概算直接工事費を超えた場合（物価変動が原因になるものを除く）は、設計者の責において修正案の提示が必要です。

#### (4) その他

ア 提出された設計案を実施設計に反映できる計画としてください。

イ 国定公園内における計画ですので、関係法令にご留意ください。

ウ 審査における提出物の著作権に関する第三者との紛争において、沖縄県が損害賠償等の責任を負った場合、当該損害賠償等に相当する額を当該提案者は沖縄県に対し賠償することとします。

### 3 ティーダフラッグス 2021 選考委員会

選考委員 伊礼 智 有限会社 伊礼智設計室（東京） 代表取締役

選考委員 金城 傑 公益社団法人沖縄県建築士会 会長

選考委員 武岡 光明 一般社団法人沖縄県建築士事務所協会 会長

選考委員 伊良波 朝義 公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 支部長

選考委員 安谷屋 幸助 一般社団法人沖縄県設備設計事務所協会 理事

選考委員 金城 壮 糸満市企画開発部政策推進課 課長

選考委員 仲地 健次 沖縄県環境部自然保護課 課長

選考委員 内間 玄 沖縄県土木建築部 建築都市統括監

※選考委員長は委員の中から互選により決定予定

### 4 手続き等

#### (1) 提出機関

委託先：公益社団法人沖縄県建築士会 〒901-2101 浦添市西原 1 丁目 4-26

TEL：098-879-7727 FAX：098-870-1710 E-mail：shikai@ryucom.ne.jp

#### (2) 担当事務局

沖縄県土木建築部施設建築課 企画班 〒900-8570 那覇市泉崎 1-2-2

TEL：098-866-2416 FAX：098-867-3314 E-mail：aa066508@pref.okinawa.lg.jp

ティーダフラッグス 2021 ホームページ（沖縄県土木建築部施設建築課 HP 内）

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/shisetsu/kikaku/compe/2021/2021bosshu.html>

#### (3) 質疑受付

ア 質疑受付期限までに、質疑書（様式 3）を（2）の担当事務局まで提出してください。

イ 提出方法：（2）の担当事務局あて FAX、メール又は持参

※FAX 又はメールにて提出した場合、必ず電話にて到着確認（担当：企画班 浦崎）をおこなってください。

※持参される場合はマスクの着用をお願いします。

ウ 受付期間：令和 3 年 11 月 1 日（月）～令和 3 年 11 月 12 日（金）17：00 まで

エ 回答はティーダフラッグス 2021 ホームページにて随時、掲載します。

#### (4) 応募登録

ア 次の①～②1部を提出して下さい。

①応募登録申込書(様式1)

※生年月日及び住所が確認できる書類(建築士免許証、運転免許証などの写し)を添付してください。なお、現住所が沖縄県内でない場合、本籍地が確認できる書類(住民票原本など)も添付してください。

※提出方法が連名の場合は、(様式1-2)も提出してください。

②応募者所属情報(様式2)

※応募条件に応じて様式及び添付書類が異なりますのでご注意ください。

I 一般 (様式2-1)

II 建築士志望者(様式2-2)

III 学生 (様式2-3)

イ 提出方法:(1)の提出機関に持参又は(1)の提出機関あて郵送

※持参される場合はマスクの着用をお願いします。

ウ 受付期間:令和3年11月1日(月)～令和3年11月22日(月)までの平日

9:00から17:00まで。ただし、郵送の場合は、配達記録が残るものに限ることとし、受付期間最終日時必着とします。

エ 受付後、応募者に電子メールにより登録完了の旨を通知します。

※応募申込書提出後、11月26日(金)までに登録完了の通知がない場合は、(2)の担当事務局までご連絡ください。

#### (5) 提案書提出

ア 次の①～③それぞれ2部と④CD1枚を(1)の提出機関へ提出してください。

① 作品提出届(様式4)

② 概算直接工事費内訳表(様式5)

※提案にかかる概算直接工事費をご記入ください。

③ 設計図面、パースなど設計意図を表現したもの(A3用紙・片面横使い)2枚

※設計者氏名等が推測できる記述を行わないでください。

※沖縄県のホームページ等で使用することがあります。

※pdf及びjpegデータをご用意ください。

※データ容量が大きい場合は、ホームページ掲載用データ(2枚を1つのデータ(pdf、jpegのいずれか)とし、5MB未満の容量としたもの)を別途ご用意ください。

④ ①～③のデータ(CDに書き込み)

※①はワードデータ、②はエクセルデータ、③はpdf及びjpegデータをそれぞれ提出してください。

イ 提出方法:(1)の提出機関に持参又は(1)の提出機関あて郵送

※持参される場合はマスクの着用をお願いします。

ウ 受付期間:令和3年11月24日(水)～令和3年12月24日(金)までの平日

9:00から17:00まで。ただし、郵送の場合は、配達記録が残るものに限ることとし、受付期間最終日時必着とします。

## 5 その他

- (1) 本設計競技に係る登録料は無料です。ただし、応募、質疑、提案図書提出及び最終審査等に関する費用は応募者の負担となります。
- (2) 実施設計業務委託に伴う作品の著作権は、「1、(9)、オ」の業務委託契約書によるものとします。
- (3) 応募者が次のいずれかに該当したときは応募登録を取り消します。
  - ア 応募作品提出期限に遅れた者、または提案図書に不備がある者。
  - イ 応募登録申込書、応募者所属情報及び提案図書に虚偽の記載をした者。
  - ウ 応募作品に記名又は応募者が特定できるサイン等が記入され、あるいは1次審査以前に応募作品を特定できるような行為を行ったとき。
  - エ 応募作品が第三者の著作権、意匠権などを侵害しているとき。
  - オ 本設計競技に関して、応募要項・申込様式等配布開始から最終審査のプレゼンテーション以前に選考委員との接触があったとき。
  - カ 最終審査に応募者が欠席した場合。
  - キ その他、選考委員会が不適格と判断した場合。
- (4) 提出物等は一切返却しません。また、提出期限後の訂正、差し替えについても対応しません。
- (5) 提出された全作品は、一次審査結果発表後から年度末まで、4(2)の担当事務局窓口にて閲覧に供します。
- (6) 入選案(一次審査を通過した作品)は、結果発表後、提案書等をティードフラッグス2021ホームページに掲載します。
- (7) 最終審査でのプレゼンテーションは、発表時間7分を予定しています。  
なお、会場ではプロジェクター等の使用も可能です。
- (8) 最終審査でのプレゼンテーションでは模型等の持ち込みも可能です。  
(模型の個数は指定しませんが、大きさは合計でA0以内とする予定です。)
- (9) この要項に定めることのほか、本設計競技に必要な事項が生じた場合、担当事務局と選考委員会との協議の上、その結果を応募者に通知するとともにティードフラッグス2021ホームページ上に掲載します。



沖縄県アンダー40設計競技は、様々な関係者の皆様のご支援により10回目を迎えることができました。今後も若手建築士にとって、本設計競技がひとつの登竜門として根付いて欲しいという願いをこめ、第5回開催時より愛称を「ティードフラッグス」としております。

太陽の下、たなびく三角旗は、若者の持つ情熱、力強さを表すとともに、参加者にとっては、己の力量をためす一つの目標であり、競争であることを示しています。そして、設計競技に参加するそれぞれが、これからの建築士人生のフラッグ(アイデンティティー)を発見して欲しいという想いが込められています。